




DELHI


BEIJING


TOKYO


SHANGHAI


GUANGZHOU


BANGKOK


HO CHI MINH


SINGAPORE

What's on today?



What's on today?

-Monthly News Letter-

- October 2010 No.13-

スカイツリー公式キャラは「ソラカラちゃん」

10月28日、東京スカイツリーの公式キャラクター記者発表会があり、「ソラカラちゃん」がお披露目されました。

ソラカラちゃんは東京スカイツリーに「空から」舞い降りてきたキャラクターとして誕生しました。東京スカイツリーをモチーフにした服装を身にまといながら、片足を上げてポーズを取る仕草はソラカラちゃん自身の活発・好奇心旺盛な性格を、また、手に持つ望遠鏡では、東京スカイツリーやその周辺の魅力を“あたらしい視点”をもって発見するキャラクターであることを表現しています。

事業主の東武鉄道、東武タワースカイツリーによると、東京スカイツリーを身近に感じてもらい、東京スカイツリーのメッセージを広く伝える役割を担うために制作したそうです。

ソラカラちゃんは今後、広告やWebサイト、公式ブログ、イベントなどに登場し、「あたらしい視点」から東京スカイツリーの魅力を伝えてくれるとのこと。かわいらしい笑顔で皆から愛されそうですね。



窓の外にも、窓のなかでも・・・

読書に疲れたら、ふと見上げてみてください。

今、東武線の電車内では、さまざまな東京スカイツリーを眺めることができます。車窓から見える東京スカイツリーとともに、車内の広告もぜひご覧ください。



こちらは東京スカイツリーの事業主である東武鉄道の広告です



こちらは大林組の広告です。新しい「時」を、心を込めてつくる、というメッセージを添えています

【現在のスカイツリー：497m】



空撮前景



真上から



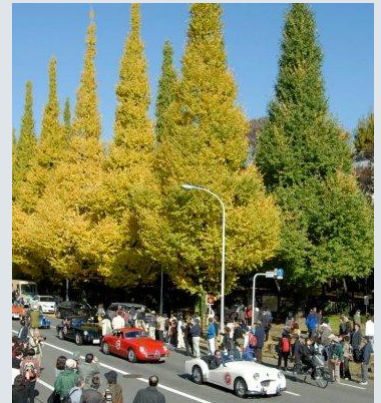
北東から

現場紹介 「トヨタ博物館 クラシックカーフェスタ in神宮外苑」

現在T-LIVEでは、毎年恒例となった「クラシックカーフェスタ」開催に向け、制作作業を行っています。
お時間のある方は是非、足をお運びください！

トヨタ自動車株式の文化施設であるトヨタ博物館では、自動車文化の継承・発展とクルマファンの交流を目的に、2007年より東京でクラシックカーイベントを開催しており、今回で4回目となります。
昨年は、メイン会場とパレードコースの沿道の方々とあわせて約5万1000人の来場者を数えました。
今年もメイン会場は「明治神宮外苑 聖徳記念絵画館前」とし、晩秋の風物詩となった個人所有の日米欧のクラシックカー約100台が146本の黄金色に色づいた銀杏並木をぬけ、銀座方面への華やかなパレードを実施します。

また、トヨタ博物館所蔵の貴重なクラシックカーの展示やシートベルト効果が体験できる交通安全コーナーなど子供から大人まで楽しめる多彩なイベントの開催を予定しています。



— 記 —

- (1) 名称：トヨタ博物館 クラシックカーフェスタ in 神宮外苑
- (2) 主催：トヨタ博物館
- (3) 併催：第14回 神宮外苑いちよう祭り
- (4) 日時：2010年11月27日(土) 10:00～15:30
- (5) 場所：明治神宮外苑 聖徳記念絵画館前 (東京都新宿区霞ヶ丘町1-1)
※公道パレード 皇居方面～銀座方面約11km スタート/ゴール：神宮外苑 聖徳記念絵画館前
- (6) 雨天：決行(但し、諸事情によりプログラムが変更となる事があります)
- (7) 入場：無料

企画展示「蒸気、ガソリンから究極のエネルギーへ」

今回の企画展示では、トヨタ博物館が所蔵する20世紀初頭の蒸気自動車・電気自動車、また第2次世界大戦中とその後活躍した木炭乗用車など世界の自動車史を代表する車両を展示。また燃料電池自動車・プラグインハイブリッド車といった次世代自動車も同時に展示。車両の走行デモンストレーションやミュージアムガイドツアーも実施します。自動車の動力源の歴史を辿るとともに、次世代エネルギー車を展望し、それぞれの社会情勢の要請にクルマがどのように応えてきたかをご紹介します。

<出展予定車両>

「ベイクォーター エレクトリック」



「スタンレー スチーマー モデルE2」



「キャデラック モデル サーティ」



※走行なし

「ビュイック(木炭乗用車)」



「トヨタ プリウス プラグイン ハイブリッド」



「トヨタ FCHV-adv」



What's on today?

-Monthly News Letter-

- October 2010 No.13-

日本の新しい玄関口、オープン！

羽田空港、国際ハブ化へ

10月21日、新滑走路と新国際線ターミナルの運用がスタートした。
国際線は成田空港、国内線は羽田空港という住み分けをしていた、東京の空の旅事情。
今後は、両空港を一体とし、国際ハブ空港とする方向だ。
羽田は24時間稼働が可能で、都心からも近い。
この先もっと発着便が増えれば、いっそう便利になるであろう。

より日本らしい空港に

空港内も、大幅にリニューアルされた。
日本らしいデザインをあちこちに反映し、海外旅行者の目を楽しませる。
オープン時には、和服姿の女性によるお出迎えや、和太鼓の演奏も行われた。
空港は、外国人観光客にとって、一番最初に目にする「日本」の姿。
一種の観光スポットになりえるほどの、見応えが欲しい。

地方の経済活性化を目指して

羽田空港の国際化における経済波及効果は、1兆円に及ぶという。
これは羽田空港のある地域や首都圏に限った話ではなく、地方にも効果はある。
外国人観光客の国内線乗継が便利になり、地方へ行きやすくなるからだ。
各県の担当者は、東京＋地方のツアーを、旅行会社に提案。
空港にアンテナショップも続々オープンしている。
如何に他の地域に負けずに、観光客を誘致できるか。
勝負は始まったばかりである。



<期間限定オープンの、兵庫県アンテナショップ>

今冬のトレンドは、ずばり「ファー」

頭から足まで、とにかくモコモコ

今冬、日本の女性の間では、何とんでもファーが流行りである。
ファーは以前から、コートの首回りや手元についていたり、マフラーや手袋や帽子で使ったりと、定番のファッションではあった。
しかし今年は特に、足元のファーが大人気なのである。

写真のように、膝より下を全てファーで覆う。
確かに保温性には優れているが、足元だけクローズアップすると、動物のようにも見える。
個人的には人気の理由がわからないが、日本でトレンド感を出したいなら、オススメだ。



<ファータイプのレッグウォーマー>



「ハンカチ世代」

今年のドラフトは、大学生がアツい！！

日本人は、ある特定の年代の集まりを、「〇〇世代」と名付けるのが、非常に好きである。日本人というより、日本のマスコミは、といった方が正しいが。

生まれた年によって「団塊の世代」「失われた世代」「ゆとり世代」...と多々あるが、「ハンカチ世代」とは、2006年夏の甲子園時に3年生だった、野球選手のことを指す。

何故、野球選手がハンカチなのか？

2006年夏の甲子園斎藤佑樹選手が、マウンドで汗を拭うのに、いつも綺麗にたたまれたハンカチを使用していたからだ。

「ハンカチ世代」という言葉は瞬く間に広がり、翌年は流行語大賞にノミネート。一躍時の人となった。

高校卒業と同時にプロ入りする選手が多い中、斎藤選手は大学進学を選んだ。

そのおかげか、低迷していた大学野球人気が再燃。

テレビ中継されたり、観客動員数が増加したりと、斎藤選手の影響は並大抵ではなかった。

そして今年、その斎藤選手こと「ハンカチ王子」が、大学を卒業し、プロ入りするのである。

それ以外にも、今年は大学生のドラフト上位指名が多い。

最も多くの球団から1位指名を受けたのも、早稲田大学の大石選手だ。

斎藤選手との交渉権を獲得した日本ハムの本拠地、北海道では、

52億円もの経済効果を見込んでいるという。

羽田空港の半分に及ぶと考えると、恐るべし、ハンカチ王子。



<早稲田大学は、3名の1位指名選手を輩出>

現場レポート

3R 推進功労者等表彰式 in 霞が関ビル (2010年10月26日)



通信技術とカーナビ

3Rとは、「Reduce」(減らす)、「Reuse」(繰り返し使う)、「Recycle」(再資源化)の頭文字を取って命名された、環境配慮に関するキーワードである。

この3Rに貢献している個人・団体・学校・企業等を表彰するのが、このイベントの趣旨である。

政治家の方もご参加され、直接受賞者に賞状を渡すので、

運営面もその点に気を使わなければならない。

とにかく政治家の方は、分刻み且つ流動的なスケジュールで動いている。

いきなり来られなくなり、代わりの方がいらっしゃるなど、よくある話。

その度に台本やサイン、前タレを修正しなおさなければならない。

当日になっても、それは変わらない。

今回も、内閣総理大臣賞という最も名誉ある賞を授与する方が、当日急遽欠席になった。

至急前タレや席置きを修正し、対応する。



<表彰状授与の様子>

この現場以外にも、VIPをお呼びする現場はよくある。

私はまだ経験したことはないが、皇族の方々をお迎えするときは、政治家の何倍も大変らしい。

著名な芸能人がいるだけで大変だと思ってしまう私(入社2年目)だが、まだまだ甘いらしい...

What's on today?

-Monthly News Letter-

- October 2010 No.13-

広州搭客足良好 新たな観光スポット



珠江沿いに聳える広州塔

国慶節(建国記念ウィーク)10月7日で終了しましたが、期間中、たくさんの観光客が広州を訪れたとの事。情報によると広州観光客数および観光収入も好調で、結果観光総収入が49億元に達し、例年と比べ14.62%増とのこと。その中でも、今広州で注目されている新たな観光スポットである広州塔への客足が良く、期間中に訪れた観光客は、延べ76858人で、1日平均で1万人以上。広州塔は地上37階、地下2階、高さは600m。最上階には展望台があり、広州市内を一望できる景色は非常にすばらしいと賞賛の声が挙がっている。

広州市内の公共交通機関の無料化 アジア大会に向けて①



市内バス



地下鉄

アジア大会に向けて、広州市政府は11月1日～29日、12月5日～21日の平日のみ、広州市内全域においてバスや地下鉄といった交通機関利用の無料化を発表しました。アジア大会、アジアパラリンピック向けに一般道が規制されるため混雑防止のための実施と思われます。
※規制: 奇数・偶数日による自動車交通規制
逆にバスや地下鉄が大混雑すると思うのですが、市民には非常に良い施策だという声も挙がっているとの事。元々、アジア大会が開催されるエリア(主に中心地)のみの施策でしたが、「不公平だ!」という市民の声が挙がり、広州市全域に広がった模様です。

地下鉄駅安全検査実施 アジア大会に向けて②



11月28日～12月22日まで、広州地下鉄駅にて安全検査の実施を行うとの事。利用無料化に伴う利用客増加と安全検査に伴う所要時間の増加により大混雑する事が想定できるため、地下鉄職員は、危険物の持ち込みや手荷物の最小限にするように呼びかけをしている。



地下鉄での空港往復無料化 アジア大会に向けて③

現在の地下鉄を広州空港まで延長(空港南駅)するとの事です。その場合現在の区間の料金が5元プラスする価格が発表されたのですが、アジア大会に向けて地下鉄利用無料化に伴う施策と連動して、同じ期間中であればその5元も免除される事がこの度決定したとの事。そのため、広州市内から空港まで地下鉄を利用すると無料で行き来する事が可能となりました。



歓喜をあげる中国の方々

※写真と文章はリンクしておりません

What's on today?

-Monthly News Letter-

- October 2010 No.13-

10月のタイ・バンコクは、子供向けイベントが目白押しでした。!

タイでは、10月1ヶ月間学校が休みになります。いわゆる雨休み！雨期の後半比較的雨が多いため、また1学期と2学期の合間を取るためほとんどの学校で休みがあります。特に今年は、各ショッピング・モールや百貨店、コンベンションセンターなどでスケールの大きな子供向けイベントが開催されていたのでご案内いたします。

The Miracle of Nature Flora&Fauna Exotica



2010年10月13-26日まで エンポリウム百貨店にて

百貨店 & ショッピングモール内でミニ動物園、ミニ植物園、ミニ昆虫園を演出！もちろん入場や各所でのイベントは、参加無料。毎年行われるこのイベントには多くの子供連れの家族が訪れ賑わいます。

Kids of the World 2010

2010年10月21-24日
ムアントンタニー-INPACTIにて開催



日本を代表する正義のヒーローウルトラマンも登場！悪い怪獣をやっつけて子供たちも大喜び！



"BIG"

Bangkok International
Game Festival 2010

2010年10月14-17日
パラゴン・ホールにて



ゲームと言えば日本のサブカルチャー！いろんなハード向けのゲームが各メーカーより勢揃い！発売前のデモ体験や競争イベントやキャラクター・ショーなどで連日大変賑わいました。



TOYZ CRAZY

10月7-13日
セントラル・パルナー店

昔のおもちゃから最新のものをまでと一緒に展示 & 即売



Doll Mania Expo 2010

2010年10月1-7日 セントラル・ラマ3世通り店

顧客参加のエキスポで個人のレアコレクションや創作作品などを展示
得点方式の拝観者も参加できるコンテストもあり。

TEF Thailand Fashion Expo 2010

2010年10月20-26日 セントラル・ワールド、サイアム・パラゴンなどタイ国商業省、タイ輸出振興局の主催で開催されるタイのファッションを世界に！をキーワードに毎年開かれるタイ・オリジナルのファッション国際交流イベント！

ニュー・コレクション
ファッションショー



コレクション展示コーナー



今年も盛況！

BOOKEXPO THAILAND 2010

10月21-31日

シリキット・コンベンションセンターにて



BOOKEXPO THAILAND 2010

วันที่ 21-31 ตุลาคม 2553
เวลา 10.00-21.00 น.

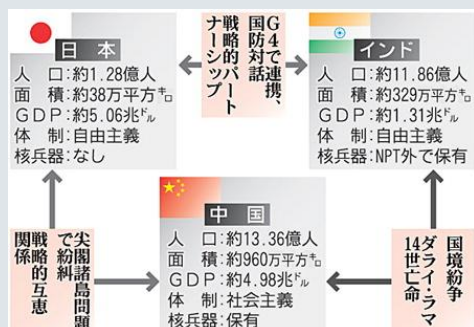
What's on today?

-Monthly News Letter-

- October 2010 No.13-

インドのシン首相、来日；菅首相と会談

シン首相と同令夫人は、公式実務訪問賓客として10月24日に来日した(26日まで)。滞在中は、天皇后陛下、菅首相と会談しました。日印間では、2005年以降、毎年の首脳訪問がおこなわれており、今回の訪日は、シン首相にとって4度目となりました。



菅直人首相は25日、来日中のインドのシン首相と会談し、日印両国貿易額の約94%の関税を発効後10年間で撤廃する経済連携協定(EPA)締結で正式に合意しました。中国が輸出を制限しているレアアース(希土類)のインド国内での開発、再利用の協力促進でも一致し、原子力協定締結交渉について、菅首相が「日本人の核軍縮・不拡散に対する思いを理解いただいて、交渉に反映してほしい」と要請したのに対し、シン首相は「インドは核実験モラトリアム(一時停止)を宣言している」と述べるにとどめました。

また、天皇・皇后陛下は25日午後、皇居・宮殿でインドのシン首相夫妻と会見されました。宮内庁によると、シン首相は会見で、日本の経済支援に謝意を示し「最近ニューデリーに日本の支援で地下鉄が開通した。市民は老いも若きも喜んでいます」と述べました。天皇陛下は「従来の日本の支援がインドの発展のために有意義なものであったと聞いてうれしく思います」と話されました。

インド大富豪の1000億円豪邸ついに完成、現在引っ越し準備中！



インドの大富豪ムケシュ・アンバーニ氏(53)をご存知でしょうか？石油関連会社のCEOであるムケシュ・アンバーニ氏は、現在インド1位、世界4位の大金持ち。インドのクリケット・プレミアリーグの「ムンバイ・インディアンズ」を所有していることでも知られています。

そのアンバーニ氏の新居がついに完成しました。その価値なんと1000億円オーバー！個人宅の価格としては文句なしの世界一になります。

大西洋にあったという伝説の島「Antilla」の名を付けた新居は、高さ173メートルの27階建て。延べ床面積は3万7000平米で、ムンバイ市内の全景を見渡せる最上階からは、アラビア海まで眺めることができます。さらにさらに！

フィットネス施設やプールがあるのなんて序の口で、巨大な舞踏会場、50席の座席を持つ映画館、3つのヘリポートまで備えているとか。

ここに住むのはアンバーニ氏、妻、3人の子どもの合計5人だけ、それなのに、この邸宅を維持するために雇われる従業員は、なんと驚きの600人！まさに、まさに……これぞハマラジャである！

さすがの大富豪もワクワクしているのではないのでしょうか！？

TOKYO



T-LIVE Co.,Ltd
Phone +81-3-3537-0234 Fax +81-3-3537-0236



SP-RING Co.,Ltd
Phone +81-3-5543-2215 Fax +81-3-5543-2216

DELHI

DELHI Saptam Film Productions India
(Saptam International)
Phone +91-11-32532503 FAX : +91-11-28741116

BEIJING



SP-LIVE International BEIJING Co.,Ltd
Phone +86-10-6409-7531 Fax +86-10-6409-7503

SHANGHAI

SP-LIVE International SHANGHAI Co.,Ltd
Phone +86-21-6472-5140 Fax +86-21-6472-5170

GUANGZHOU

SP-LIVE International GUANGZHOU Co.,Ltd

BANGKOK



T-LIVE BANGKOK Co.,Ltd
Phone +66-(0)2-716-8501 Fax +66-(0)2-716-8502

HO CHI MINH



KAD Corporation
Phone +84 838 181 391 FAX +84 838 181 392

SINGAPORE



CONCEPT 360° PET LTD
Phone +65-6887-5595 Fax +65-6887-5991